



# 市長メッセージ

市長 中野正康

## 障害者スポーツと国際交流

～東京2020パラリンピック～

ID 1041674

### 障害者スポーツ:パラリンピック

東京2020オリンピックの後、8月24日(火)にパラリンピック開会式があり、22競技539種目が実施されます。パラリンピックは、世界最高峰の障害者スポーツ大会です。

### 一宮特別支援学校「ボッチャ」で全国大会優勝

障害者のスポーツは、一宮市でも盛んで、車いすバスケットボールや水泳、陸上と様々な競技で障害者の方が活動されています。一宮市社会福祉協議会では障害者スポーツの普及と健常者と障害者の交流を目的に障害者スポーツ推進事業を行っており、今年3月には「ボッチャ」という障害者スポーツの体験交流会も開催しています。

「ボッチャ」は、障害の有無にかかわらず、老若男女誰でも楽しむことができるスポーツとして注目されています。ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールをいかに近づけるかを競うスポーツで、パラリンピックでも正式種目となっています。

今年3月に全国の特別支援学校の「全国ボッチャ選抜甲子園」がオンライン形式で開催されました。44チームが参加した戦いで、一宮特別支援学校のチーム「サザンクロス」が見事、初優勝を果たしました。このチームは、その2週間後、先ほどご紹介した障害者スポーツの体験交流会にもデモンストレーションのため参加され、多くの市民と交流を深めました。



### 車いすテニスで世界トップクラスも

市内在住のおだときとさん(西成中3年)は、車いすテニスの国際テニス連盟(ITF)ジュニアランキングで日本人男子史上初となる世界1位(4月26日付)に輝きま

した。14歳11カ月で1位獲得は、史上最年少の記録です。

車いすテニスとは、2パウンドでの返球が認められている以外、ルールはテニスと変わりません。1992年のバルセロナ・パラリンピックから正式競技となりました。

10歳で車いすテニスを始めた小田さんは、12歳でITF大会に初出場し、14歳で史上最年少の世界1位になりました。今後、2024年のパリ・パラリンピックでのメダル獲得が期待されています。



### アメリカ合衆国のホストタウンです

一宮市は、東京2020大会のアメリカ合衆国のホストタウンとして、前回のリオ・パラリンピックで金メダルを獲得した女子シットینگバレーボールチームの事前練習の受け入れや大会後の交流を行う予定です。チームの受け入れにあたっては、選手団と一般の方が接触をしない動線を設けるなど、コロナ対策に万全を期して参ります。

シットینگバレーは、座ったままプレーします。コート大きさはバレーより一回り小さく、ネットも低くなっていますが、基本的なルールは同じで、スピード感あふれる試合展開が魅力の一つになっています。

事前キャンプは8月16日(月)～20日(金)の予定で一宮市総合体育館にて行われ、ライブ配信による公開練習も計画しております。詳細は7ページをご覧ください。シットینگバレーも障害の有無にかかわらず、誰もが楽しめるスポーツです。チームの受け入れや交流が実現すれば、障害者スポーツと国際交流の発展する大きなチャンスになると、期待しています。【7月9日執筆】

